

授業科目	* 在宅看護学				単位	2		
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護)		ナンバリング	NU21401J		
開講年次	3年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1			
担当教員	石井 美紀代、吉原 悦子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として、病院看護師または市町村保健師での看護活動の経験をふまえて講義を行う。内容は、医療・看護をとり巻く社会情勢の変化に伴い、在宅看護が必要とされる背景、継続看護、在宅看護の目的と機能・役割を解説する。また、在宅療養者の健康状態・生活状況の多様性を理解した上で、療養者と家族を1単位とした看護を提供するための知識を修得し、対象の自立・自律を促す看護の責任を考える。さらに、国の推進する地域包括ケアシステムの構築で、看護に期待されている役割を考え、多職種と連携・協働のあり方を考える。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療・看護をとり巻く社会情勢から在宅看護が必要とされる背景を知り、在宅看護にかかわる施策・制度を説明できる。 2. 継続看護について説明できる。 3. 在宅看護に活用できる家族理論の概要を述べることができる。 4. 在宅療養に対して安全・安楽な看護および自立を支援する看護の役割について説明できる。 5. 看護専門職として、療養者の居宅に1人で訪問する責任を考え、自分の言葉で述べるができる。 6. 地域包括ケアシステムの概要を説明できる。 7. 保健・医療・福祉サービスを整理し、療養者と家族を支えるために多職種・多機関と連携する必要性を理解する。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	80	0	20	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	60						60	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20		20				40	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>標準的なレベルの知識、思考、関心、態度を修得した上で、これらをより詳細に表現できる。具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療・保健・福祉分野の社会問題を例に挙げ、それらに対する公的なサービスの限界を述べられる。 2. 継続看護の現状から、課題と改善方法について述べられる。 3. 地域包括ケアシステムが必要になった背景を調べ、システム 				<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅看護が必要とされる社会背景を説明できる。 2. 在宅看護にかかわる施策・制度を説明できる。 3. 継続看護について説明できる。 4. 在宅看護に活用できる家族理論の概要を述べるができる。 5. 在宅療養に対して安全・安楽な看護および自立を支援する 				

構築の課題が述べられる。 4. 在宅療養における生活上の困りごとを例示し、それを支える保健・医療・福祉サービスの連携を図式化できる。		看護の役割について説明できる。 6. 看護専門職として、療養者の居宅に1人で訪問する責任を考え、自分の言葉で述べるができる。 7. 地域包括ケアシステムの概要を説明できる。 8. 保健・医療・福祉サービスを整理し、療養者と家族を支えるために他職種・他機関と連携す		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:在宅看護の社会背景 (石井) 在宅医療・在宅看護が必要とされる背景について解説し、在宅看護の対象や場の特徴、倫理と基本理念を解説する。	講義	復習:講義内容の復習	60
2	テーマ:在宅医療・在宅看護に関係する制度(石井) 医療保険・介護保険・訪問看護に関する法律について解説する	講義	予習:「保健医療福祉行政論」の講義資料で社会保険制度を見直してくる 復習:講義内容の復習	60
3	テーマ:在宅療養を支える社会資源①(石井) 介護保険制度について解説し、社会資源の活用と公的制度の限界について考える	講義	予習:介護保険の居宅サービスの種類を憶えてくる 復習:講義内容の復習	60
4	テーマ:在宅療養を支える社会資源②(石井) 障害者・難病・小児の療養を支える制度について解説し、社会資源の活用と公的制度の限界について考える	講義	予習:「保健医療福祉行政論」の講義資料で社会福祉制度を見直してくる 復習:講義内容の復習	60
5	テーマ:地域包括ケアシステム(吉原) 国が進めている地域包括ケアシステムについて解説する	講義	予習:教科書「地域包括ケアシステムと在宅ケア」を読んてくる 復習:講義内容の復習	60
6	テーマ:地域包括ケアシステム(吉原) 多職種の連携・協働の実際と地域での役割について解説する	講義	予習:教科書の「地域包括ケアシステムと在宅ケア」を読んてくる 復習:講義内容の復習	60
7	テーマ:継続看護(吉原) 継続看護の仕組み、退院調整看護師の役割と訪問看護師の連携について解説する	講義	予習:教科書の「継続看護と退院調整」を読んてくる 復習:講義内容の復習	60
8	テーマ:在宅ケアとケアマネジメント(石井) ケアマネジメント、カンファレンスの目的について解説する	講義	予習:教科書の「在宅ケアとケアマネジメント」を読んてくる 復習:講義内容の復習	60
9	テーマ:地域包括支援センターと介護予防(石井) 介護予防事業を解説し、看護の予防機能を考える	講義	予習:「保健医療福祉行政論」の講義資料で介護予防事業を見直してくる 復習:講義内容の復習	60
10	テーマ:在宅療養を必要とする小児の看護(石井) 小児の在宅療養の特徴や諸問題を解説し、看護と療育との連携について考える	講義	予習:小児の発達(0歳～15歳)を憶えてくる 復習:講義内容の復習	60
11	テーマ:家族の機能とその変化(石井) 家族の機能・役割の変化が家族看護に及ぼす影響を家族理論の一部を紹介しながら解説する	講義	予習:教科書の「在宅看護と家族」を読んてくる 復習:講義内容の復習	60
12	テーマ:在宅療養者を支える家族の支援(石井) 在宅看護での家族支援について、介護負担に影響す	講義	予習:教科書の「家族による介護者の状況」を読んてくる	60

	る要因を含めて解説する		復習：講義内容の復習	
13	テーマ：在宅療養の成立要件と看護活動(石井) 在宅看護での家族支援について、介護負担に影響する要因を含めて解説する	講義	予習：教科書の「事例にみる看護活動」を読んでくる 復習：講義内容の復習	60
14	テーマ：訪問看護ステーションの管理(石井) 看護職が管理者となる企業体としての看護管理について解説する	講義	予習：教科書の「在宅ケアと危機管理」を読んでくる 復習：講義内容の復習	60
15	テーマ：在宅ターミナルケア(石井) 在宅での緩和ケア、看とり、グリーフケアについて解説し、訪問看護師の役割を考える	講義	予習：「ターミナル」の定義をまとめてくる 復習：講義内容の復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	在宅看護学は、「看護実践の統合」に位置付けられています。在宅看護を考えるには、基礎看護学、小児看護学、母性看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学での、既習の知識と技術が必要です。			
テキスト	地域療養を支えるケア(メディカ出版)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に紹介する			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	在宅看護学の対象は、全ライフステージです。また、療養者のご自宅や環境に合わせた看護を考えます。そのため、基礎看護学や各看護学で学んだ内容が基盤です。考えること手間を惜しまないで受講してください。 ※授業の進行によっては、講義の順番を入れかえることがあります。
達成度評価に関するコメント	試験・レポートの内容については、授業中に指示します。